

4. どうやって水を使うの？ — 管につないだり、タンクにためたり

(1) 水を使うためのしくみ

畑近くにまで送られた水は、管を通して直接水まき機に送られたり、トラクターのタンクにためられ、畑にまかれます。薬をまく時に、よく利用されます。畑の近くには、水を使うための仕組みがあります。



分水栓。さらに水を分ける。



給水栓。水まき機につなぐ。



スプリンクラーで水をまいているところ。



分水施設と給水施設。



水の出口が高くつくられた給水施設から、タンクに水を取る。



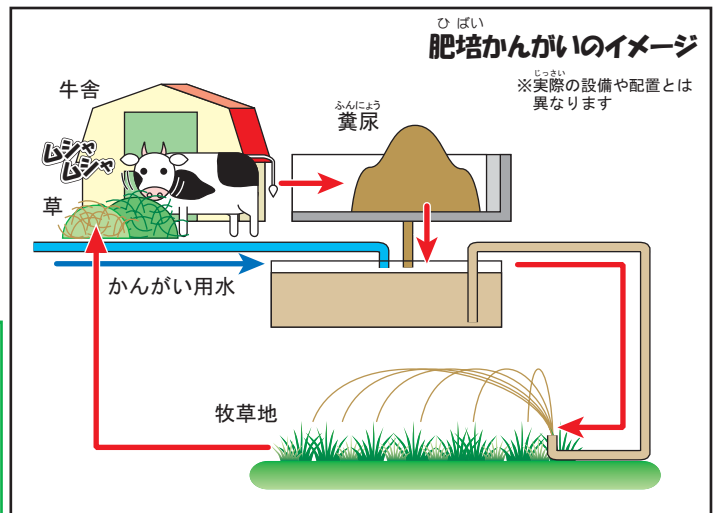
作物の病気予防の薬などをまくためにも、水は必要。

(2) 用水整備でいい作物を

作物が取れる量をふやし、より品質のいい作物を育てるために、用水が引かれて使いやすい仕組みがつけられます。

こうした「かんがい」^{※6}には、牛舎などで出る糞尿^{※6}や尿を用水に混ぜて草地等にまく、「肥培かんがい」というものもあります。

参考：パンフレット「畑地かんがい」帯広開発建設部
 パンフレット「札内川第一・第二地区事業概要・国営かんがい排水事業」帯広開発建設部 十勝南部農業開発事業所
 パンフレット「畑地かんがい施設・末端施設選定カタログ」帯広開発建設部・十勝支庁
 北海道・農地整備課のホームページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nts/>



川で行われた大きな工事

川につながる
ふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

付録

※4 配水路・配水幹線(はいすいりょう・はいすいかんせん)：配水池から、農地近くの分水栓(ぶんすいせん)や給水栓(きゅうすいせん)まで水を送る水路。
 ※5 ヘクタール：面積の単位で1㌥は100m×100mの広さ。

※6 かんがい(灌漑)：水を川などから引いて農地をうるおすこと。